

令和 7 年度 学校経営方針



つながりを大切にし、学校・保護者・地域、みんなでつくる

「笑顔あふれる武蔵野小学校」



昭島市立武蔵野小学校

令和 7 年度 学校経営方針

令和 7 年 4 月 1 日

昭島市立武蔵野小学校 校長 大河原 博

1 学校経営の基本的な考え

武蔵野小学校は、全ては子供たちのために「楽しい学校づくり、学校経営」を目指「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図ります。

そして、学校・家庭・地域と密接に連携し、ふるさと昭島の自然や文化を愛し、社会に主体的に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成を目指し、本年度も以下の学校づくりを目指していきます。

つながりを大切にし、学校・保護者・地域、みんなで作る 笑顔あふれる武蔵野小学校

昭島市初のコミュニティスクールとして、「地域に支えられ、地域と共に歩む学校」を基本とし、保護者・地域の期待を尊重し、子供が社会に出たときに、人生を幸福で豊かなものにするために、小学校教育で担うべき役割を明確化し、発達段階に応じた意図的・計画的な教育活動を組織的に行います。

児童が、**主体的に自ら考え、判断し、行動できる**教育活動を授業や学校行事の中で意図的に設定します。特に授業の中では、**問題解決力の育成**を意識した授業を行い、自分の考えをしっかりとつ場面を設定し、話し合い（**対話的な活動**）や協力して行うグループ活動（**協働的活動**）を多く取り入れ、児童同士が互いの**価値感を認め合いながら**、よい問題解決ができるようにします。

また、児童のメタ認知能力を高めるため、学習や行事での**振り返り活動を充実**させます。

さらに、地域の学校として、常に評価・改善しながら、地域と協働した教育活動を展開します。子供自身の手で未来社会を切り開くための資質や能力を育み、人から教えられるのではなく、**自分自身で主体的に問題を見付け、考え、対話的に考えを交流し、よりよい解決**を導き、さらには、**新しい価値を見いだす力を育成する教育活動を推進**します。

2 教育目標

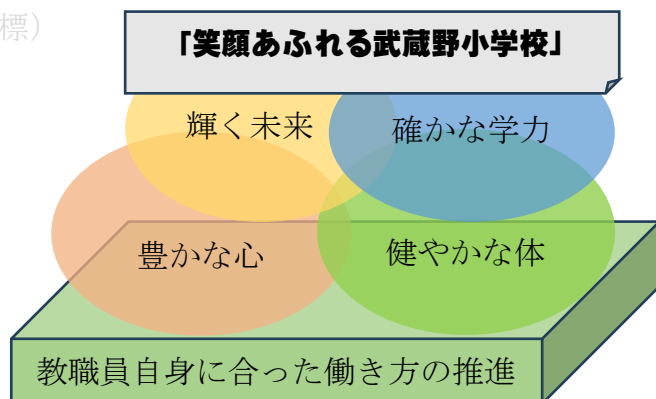
知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図るとともに、学校・家庭・地域が密接に連携し、ふるさと昭島の自然や文化を愛し社会に**主体的**に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成を目指すために、次の3点を教育目標とします。

○しっかり考える子 （問題解決力）	○心やさしい子 （人間関係形成力）	○つよく元気な子 （体力・活力）
よく見て、よく聞き、よく考える力を培い、思考力・判断力・表現力を身に付けた子供	生命の尊さと人権尊重の精神を学び、感性あふれる豊かな心をもつ子供	健康、安全に心を配り、すすんで心と体を鍛えることができる子供

子供たちが学んで楽しい、教員にとって教えて楽しい、そんな学校を目指します。全ての大人と子供が、人権に配慮し、心を通わせることを重視した教育活動を展開していきます。また、皆が力を合わせ、組織的・計画的に、よりよい武蔵野小を創るために職務を遂行します。

3 教育目標を達成するための基本方針（中期経営目標）

- 方針1 **確かな学力**の定着と学ぶ楽しさの共有
- 方針2 相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる**豊かな心**の育成
- 方針3 **健やかな体**の育成
- 方針4 学校外と連携し、**輝く未来に向かって**児童が自立する基礎を養う。
- 方針5 教職員自身に合った働き方の推進



4 教育目標を達成するための具体的な方針

方針1 **確かな学力**の定着と学ぶ楽しさの共有

必要とされる知識及び技能を、確実に習得させるため、授業の中での学ぶ楽しさを味わい、学級内で共有し、**主体的**に学習する態度を育成します。また、タブレットPC（ICT）を活用した学習を充実します。様々な学習場面や生活場面で遭遇した問題に対して、自ら主体的に情報収集を行い、現状分析・把握をし、課題を見付け、協働的によりよく解決していく**問題解決能力**や考えたことについて、よりよく相手に伝えることができる表現力やプレゼンテーション能力の育成を図ります。

また、学んだことを多角的に考察し、実生活に生きる新たな価値の想像ができる深い学びとなるような活動を展開します。自分の意見や考えを明確にもち、相手に伝えることのできる人間を育成します。

- ・問題解決学習の学習過程を設定し、思考力・判断力・表現力等を育成する。
- ・自分から**進んで課題に取り組む**など、児童の**主体的な**学習態度を育成する。
- ・児童同士の交流等で自他のよさや可能性を知る**多様性や協働性**を重視する。
- ・聞く・話す・発表・まとめる等の言語活動を充実させる。
- ・少人数指導や補習教室等で基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。
- ・**実態に応じ、基礎学力定着のための基本演習の時間の確保や、家庭と連携した、児童の学習習慣を確立をめざす。**
- ・児童や実態に応じた授業改善や、**授業交換・教科担任制**などで、効果的に学力を身に付けさせる。
- ・言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ・各教科等との関連を図った教科横断的・探究的な活動、体験的・問題解決的な活動を行い、学び方やものの考え方、表現する力を身に付け、課題を探究する態度や姿勢を育成する。
- ・障害の有無に寄らず、合理的な配慮に基づいて一人一人の教育を保障する教育支援の充実を図る。
- ・児童の個性や能力の伸長、生涯学習の基礎づくりなどの観点を踏まえた、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育の充実を図る。



方針2 相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる**豊かな心**の育成

全ての活動を通して、自分のよさと友達のよさを実感し、児童の自己**有用感**を高めていきます。人と関わる中で重要なのは、相手の気持ちや思考を想像する力です。常に相手の事を考え行動することができる想像力を育みます。また、多様な価値観を認め尊重する態度と**協働する素晴らしさを学ばせます。**

また、生命の尊さと人権尊重の精神を学び、感性豊かな心をもち、自分を大切にし、人のために考え、よりよい**人間関係を形成**できる資質・能力を育成します。

- ・特別の教科である道徳を要とする道徳教育を充実し、他者理解や思いやりの心情等の道徳性を養う。
 - ・様々な集団活動に自主的、実践的、創造的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題をよりよく解決する活動の充実を図る。
 - ・教育活動全体を通して、生命尊重を基盤とした教育と人権教育の推進を図る。
 - ・**本校の特色でもある縦割り班活動等の異学年交流をの工夫して、相手意識を深めるとともに、自己有用感を高める活動を行う。**
 - ・音楽や図工における表現及び鑑賞の活動や、鑑賞教室など多様な表現や鑑賞の活動等の充実を図る。
 - ・読書活動の充実を図り、想像力を高め児童の読書を愛好する態度を育成する。
 - ・いじめを許さない心情を育て、いじめの早期発見・早期解決に努める。
- (都の「いじめ対策総合対策」を踏まえた、いじめ防止対策の確実な実施をおこなう。)

方針3 **健やかな体**の育成

生涯幸福に生活するためには、健康・安全であることが重要です。そこで、自分の心と体の健康に関心をもち、自ら心身の健康管理や体力向上をすることができる児童を育成します。**体力向上**とその意欲になる活力を育む教育活動を展開します。

- ・自身の生活を振り返り、健康安全につながる生活習慣を身に付けようとする態度を育成する。**GM60分**
- ・多様な運動を通して体力の向上に関する指導の充実を図る。
- ・食育を推進し、望ましい食習慣を身に付ける。
- ・安全に関する情報を正しく判断し、安全のための行動に結びつけるため指導の充実を図る。
- ・心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるための心身の健康の保持増進に関する指導の充実を図る。



方針4 学校外と連携し、**輝く未来に向かって**児童が自立する基礎を養う。

学校運営協議会を機能させ、地域の学校として、常に評価・改善しながら、地域と協働した教育活動を展開します。児童自身の手で未来社会を切り開くための資質や能力を、地域等外部の人材や教材を有効に活用して身に付けさせます。子供たちが迎える将来の社会（グローバル社会）で活躍するためのコミュニケーション能力を、多様な人との関りの中で育み、児童の自立の基礎を養いま

- ・家庭・地域社会との関りを深め、相互理解や行動連携・協働を通して児童を育てていくために、学校は、その中心的役割を發揮する。
- ・地域や様々な人々との交流活動を積極的に取り入れ、多様な価値観・多様な考え方とふれ合う機会を設け、協働する体験を増やす・家庭・地域の声を活かすとともに、学校の教育活動を情報発信していくことに努める。
- ・幼保・小中の連携を図り、児童が安心して自身のキャリアを積み重ねていくことができる環境を作る。

方針5 教職員自身に合った働き方の推進

児童の成長を願い、充実した教育活動を展開するためには、教職員自身の働き方に対する意識を変える必要があります。自分の仕事の進行管理能力を高め、効率化を図り、メリハリのある仕事の仕方を考えられるようにし、新たな働き方の価値を見だし、その働き方を互いに尊重できるようにします。経営の基本方針に位置付け取り組むことで、教職員自身が働きがいを持ち、よりよい教育の推進を図れるようにします。

- ・教職員一人一人が持ち味を發揮し、協働性の高い職場づくりを進める。
- ・子供に向き合う時間や教材研究する時間を確保し、よりよい教育を実践する。
- ・自分の働き方を見つめ直し、自分に合った働き方を実践させる。
- ・教職員同士の結びつきを強め、補完性を共有できる同僚性を高める。
- ・働き方改革を推進し教育計画を確実に実施する、合理性・効率性が高い組織
(タイムマネジメント、ハラスメントゼロ)

5 目指す教師像

「教育は人なり」と言われるように、教育活動を実践する教員の資質・能力の向上が大切です。上記の学校を創造するため以下の教師を目指していきます。

(1) 子供のことを第一に考える教師

常に、子供の成長を願い、子供を信じ、子供のことを第一に考え、教育活動の充実のためには不断の努力を惜しまない教師を目指す。

(2) 子供のよきモデルとなる教師

「思いやりのある やさしい子供」を育成するためには、「思いやりのある やさしい教師」でなければならない。そして、「やるべきこと」「やってはいけないこと」「守らなくてはならないこと」等、常に社会人としての規範的な行動をとり子供に指導するとともに、自身でも実践し、子供のモデルとなれる教師を目指す。

(3) 互いに協力し合い、認め合い、高め合う同僚性の意識が高い教師

学校運営の基本は組織力です。互いに日々の実践を共有・振り返ることができる教員集団として互いに協力し合い、認め合い、高め、育ち合える同僚性のある教師を目指す。

また、組織人材は最高の教育資源である意識を持ち、日常的に互いの指導を見合い、学び合いながら、指導技術や教育理念を磨き合うことを目指す。



6 その他

- ・本校のレガシーとして、学校の特色である芝生化の活用で、維持管理から環境への意識を高め、その活用・交流から地域愛を育む。
- ・「つなが・そろえる・つらぬく」をキーワードとした、瑞雲中学校ブロックの特色を生かした教育活動を継続して展開していく。
- ・学校運営協議会制度を導入3年目。昭島市初の「コミュニティースクール」(武蔵野小、つつじが丘小、瑞雲中)の学校運営協議会を継続。地域と連携した教育活動を発展する。
- ・50周年式典、関連行事以降も、地域・保護者の皆様と協力して円滑に実施する。